

# 日田市立 大明小学校 大明中学校 屋内運動場



所在地：大分県日田市大肥本町  
 建築面積：1,232㎡  
 監理：日田市教育庁教育総務課  
 延床面積：1,248㎡  
 構造：RC造一部木造  
 設計：中原設計事務所  
 施工：建築／川浪・諫山建設工事共同企業体  
 電気／九州電工㈱  
 竣工：平成24年12月

S202

大分県日田市内初の施設一体型の小・中一貫校として、校舎とともに屋内運動場を新設。  
 屋内運動場の照明は、大幅な省エネとメンテナンスコストの削減を実現する  
 先進のLED高天井器具が採用されています。

大明ならではの特色ある学校づくりを目指して施設一体型の小・中一貫校として開校

日田市は大正から昭和の初期に大蔵大臣として活躍した井上準之助の出生地でもあり、また、日本有数の梨の産地として広く知られています。

日田市立大明小・中学校は、10年以上にわたって地域の清掃活動や校区の高齢者との交流、それに東日本大震災の被災地への募金活動などを行っており、第26回福祉優秀校・大分合同新聞社賞を受賞されています。平成24年4月より、「学びあい」「支えあい」「みがきあい」を合言葉に、日田市初めての施設一体型の小・中一貫校として開校。ふるさとを愛し、生きる力を育てる小・中一貫教育のあり方を求めて小・中一貫校ならではの特色ある学校づくりを進めています。

地元産の日田杉を多用した屋内運動場に、省エネ性能に優れた先進のLED高天井器具を採用

新校舎に隣接して設けられた屋内運動場は、地元産の日田杉をふんだんに使用。屋根構造を木造とし、木の香る快適な体育空間が創出されています。照明は、エコスクールを意識して、省エネ性能に優れ、かつメンテナンスフリーのLED高天井器具を採用し、切妻天井形状とした木造のトラスに千鳥配置で左右対称に設置しています。この先進のLED高天井器具は、400W形メタルハライドランプ高天井器具（消費電力415W）とほぼ同等の明るさを平均消費電力200Wで実現し、約52%の省エネを図るとともに、長寿命による（60,000時間）メンテナンスコストも大幅な軽減を可能としています。

また、点灯・再点灯に時間がかかるメタルハライドランプと違って、瞬時に点灯・再点灯できるため、点滅回路を細分化し、エリア別点灯や間引き点灯のほか、舞台を使用した式典時の点灯パターンなどを可能にする点滅スイッチを設置。生徒でも容易に、無駄なく、使い勝手のよい照明となっています。



LED高天井器具を木造トラスに千鳥配置で左右対称に設置



アリーナ側面から望む木造トラスに設置したLED高天井器具



エントランスに採用の蛍光灯スクエア器具



LED高天井器具



通路のダウンライト



男子トイレの照明

### 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ・備考
室内運動場	LED高天井器具	LEDJ-20021WN-DJ2	30	LED 平均消費電力：200W
	LED一体形ダウンライト	LEDD-15001MN-LS9	2	LED 消費電力：14.8W
		LEDD-66001MW-LS1	15	LED 消費電力：6.9W
	スクエアベース照明器具	FHR-33101-PR9	6	32Wコンパクト形蛍光ランプ×3